

令和二（2020）年度

県立広島大学

模擬講義「大学の先生に聞いてみよう」

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

SDGs15「陸の豊かさを守ろう」について

令和2（2020）年9月18日（金）県立広島大学模擬講義
呉武田学園・武田中学校高等学校 中学

県立広島大学 庄原キャンパス 生物資源科学部
生命環境学科 環境コース 准教授
青柳 充 博士（学術）

2030年のゴールから「眺める」



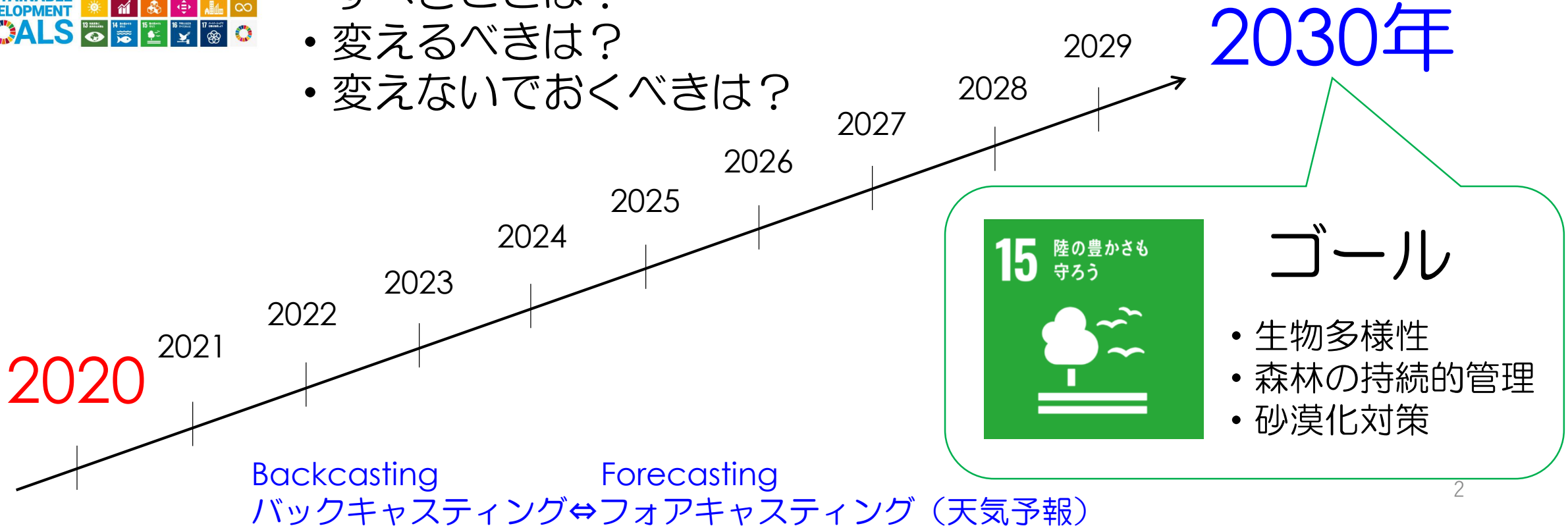
「2030年のゴール」が決まっている

達成するためには・・・

- 足りないのは？
- すべきことは？
- 変えるべきは？
- 変えないでおくべきは？



今のままで
ゴール達成
できるかなあ？



15 陸の豊かさも守ろう



配布テキストのGoal 15



Goal 15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、 (1) 持続可能な森林の経営、 (2) 砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び (3) 生物多様性の損失を阻止する

森林と陸上生態系の保護が進み、森林損失は減速しています。とはいえ、生物多様性や土地生産性、遺伝資源を守り、生物種の損失を抑えるためには、その他の土地保全面で引き続き対策を加速する必要があります。

陸圏で

(1) 森林

森林とはどのようなところなのか？
日本の中でどれくらいあるのか？どのように存在しているのか？
どのように管理され、維持されているのか？



4

(2) 砂漠

陸圏で

生物多様性が保てないところ
水や植物、それにかかわる恩恵にあずかれないところ
人間の文明が、滅びてしまうところ・・・



陸圏で

(3) 生物多様性

私たちが暮らすうえで欠かせないもの・・・
きれいな水・きれいな空気・食べ物
・健康な体・土の力・安定した環境・・・



15 陸の豊かさも守ろう



2030年持続的発展の目標



(1) 森林

生き物が生き続け
つながり役割を果たし
作り上げる環境を
維持すること。

(2) 砂漠

水と生命のつながりが
かかわる環境を守ること。

(3) 生物 多様性

利用する際には
そのつながりの恵みを
知り守り持続させること。
利益と関係なく守ること。

でもSDGsは義務やルールではない



まず、興味を持つこと、願わくば、
問題意識、ヒトとのつながりを



知ること、正しい情報を得ること



これが、一番最初（今ココ！！）
これがないと動くのは難しい
他の人とも連携しにくい

実際の状況を、正確に知ること

適切な対策を考えること、話し合うこと



適切な対策を行うこと

対策の適切さを検証すること

その結果を未来に託すこと



世界のみんで考えた！（2015年現在）
2030年の世界はこうあってほしい、
そしてそうなることを実現したい！